

2022年7月導入

新幹線メンテナンス東海株式会社 様

導入に至る経緯

より早く対象物を特定して、お客様にお渡ししたい

新幹線メンテナンス東海株式会社は、JR 東海・東京駅における遺失物取扱業務を担っており、日々大量に届くお忘れ物の管理に大変苦慮されていました。

1 日に取り扱うお忘れ物の数は約400 件。それらのうち約 3 割は持ち主にお渡しすることができていますが、携帯電話をはじめお土産物や傘など、類似したものが多く、正確かつ迅速にお客さまにお渡しすることが課題となっていました。

選定理由

決め手は、大幅時間短縮・作業負荷軽減の課題解決

物品管理システムは、ハンディターミナルでタグをスキャンすることで、正確かつ迅速に対象物を特定できる点を高く評価いただきました。また、イノベーション推進施策の一環として、本システムを採用いただきました。

導入後

- ①遺失物にUHFタグを付け、データベース登録
- ②アプリ画面とハンディターミナルの鳴動音でおおよその位置を確認
- ③UHFタグのLED部が光ることで、対象の遺失物を特定



	導入前	導入後
探索方法	目視で棚を確認	ハンディターミナルでタグをスキャン
類似品の識別	人の記憶やラベル頼り	LED点灯で対象物を特定
サービス品質	待ち時間が長く、顧客満足度低下	待ち時間短縮、顧客満足度向上
管理精度	手作業で記録	システムで自動記録

今回の事例でのポイント

今回の事例は、「探す手間を削減したい」「社員の負担を軽減したい」というご要望でした。

新幹線メンテナンス東海株式会社様では、イノベーション推進の取り組みで『機械がやれることは機械に、人にしかできないことは人が』を積極的に推進されています。

その取り組みにお応えすべく、**UHF帯RFIDタグを使用した 物品管理システムを導入**させていただきました。

【導入企業様の声】

新幹線メンテナンス東海株式会社 旅客事業部 担当者様

『弊社からの依頼に対して、テスト機の開発から現場での試行を実施しました。試行により得られた社員の意向・要望を取り入れて頂き、社員の会社施策への参画意識向上や弊社のイノベーション推進につながり、大変満足しています。』



新幹線メンテナンス東海株式会社

(SHINKANSEN MAINTENANCE TOKAI CO.,LTD)

所在地：東京都中央区日本橋3-1-17 日本橋ヒロセビル5F

設立：1999年4月 従業員数：2,036人（2022年6月現在）

事業内容：東海道新幹線車両・駅・事務所等の整備

駅出改札業務など鉄道運輸業務・駅遺失物取扱及び旅客介助業務、その他

URL：https://www.smt-jp.co.jp